広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム　応募書類

申請者氏名　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

**2. 【研究計画】**※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

**(1) 研究の位置づけ**

次世代フェローとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*※文字サイズ１１ポイント以上を用いて記載してください。*

**【研究計画】（続き）**※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください

**(2) 研究目的・内容等**

　① 次世代フェローとして取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・海外研究機関の研究者との交流に関する計画がある場合(特に博士課程後期における副指導教員の一人とする場合)、海外での研究（特に中長期（少なくとも一か月以上）の研究留学）など海外研さんに関する計画がある場合には、具体的に記入してください。*

**3. 【研究遂行力の自己分析】**

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）*

*著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）*

*著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**4. 【目指す研究者像等】**

　「創発的次世代研究者育成・支援プログラム」は、日本の将来の科学技術・イノベーションに貢献し、世界の未来を担う人材となる博士課程後期学生を支援・育成し、羽ばたかせることを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて次世代フェローの採用期間中に行う研究活動の位置づけ」、(3)「目指す研究者像を踏まえて、現時点で想定しているキャリアプランにおいて、博士号取得後に日本の将来の科学技術・イノベーションにどのように貢献するのか（特に博士号取得後10年間について）を記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

**(1)目指す研究者像** ※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

**(2)「目指す研究者像」に向けて、次世代フェローの採用期間中に行う研究活動の位置づけ**

**(3)「目指す研究者像」を踏まえて、現時点で想定しているキャリアプランにおいて、博士号取得後に日本の将来の科学技術・イノベーションにどのように貢献するのか。（特に博士号取得後10年間について）**

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム　応募書類　チェックシート

✓

※本チェックシートも申請書類とともに、提出が必要です。

※チェックシートに不備がある場合は、審査に付されないことがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　目 | チェック内容 | チェック欄 |
| 【研究計画】　（１）研究の位置づけ | 文字サイズは11ポイント以上で作成されていること |  |
| 過不足ない文章量で、**１頁**に収まっており、様式変更・追加が無いこと |  |
| 【研究計画】　（２）研究目的・内容等 | 文字サイズは11ポイント以上で作成されていること |  |
| 過不足ない文章量で、**2頁**に収まっており、様式変更・追加が無いこと |  |
| 【研究遂行力の自己分析】 | 文字サイズは11ポイント以上で作成されていること |  |
| 過不足ない文章量で、**2頁**に収まっており、様式変更・追加が無いこと |  |
| 【目指す研究者像等】 | 文字サイズは11ポイント以上で作成されていること |  |
| 過不足ない文章量で、**１頁**に収まっており、様式変更・追加が無いこと |  |
| 指導教員との調整 | 応募書類は指導教員と相談の上で作成されたか。或いは、指導教員が記載内容を承知しているか。日本の科学技術・イノベーション創造に直接携わる意思を指導教員が確認できているか。 |  |

【指導教員所属】：

【指導教員氏名】：

|  |  |
| --- | --- |
| 上記内容を確認しました |  |

※指導教員の自署・押印は不要です。